

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジ



2011-2012年度 会長 天野清美 幹事 端山佳誠 クラブ会報委員長 亀井敏勝

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2011 November 30

■ 2011~2012年度方針

「学び、楽しみ、育てようロータリー」

NO.19

## 例会報告

●第1924回例会 平成23年11月30日(水) 晴

●11月はロータリー財団月間

●ロータリーソング 四つのテストのうた

●出席報告 会員 101 名中 出席79名  
(98)

出席率80.61% 修正出席率80.61%  
(11月9日 96.78%)  
(11月16日 90.32%)

## ●ニコボックス

「久しぶりの卓話です。宜しくお願い致します。」

富島照男君

「富島先生今日は40周年記念卓話をよろしくお願  
い致します。」

天野清美会長

「3月初め週間ダイヤモンド、今週、週刊東洋経済  
で我社のことが記事になりました。言い訳になり  
ますが、非常に忙しい状態で幹事をやっております。  
皆さんに迷惑をかけていますが何とぞお許し  
下さい。」

端山佳誠幹事

「先日のゴルフワンの会にて高いハンディとすばら  
しいメンバーに恵まれ、計らずも優勝いたしました。  
素直に喜びたいと思います。皆様ありがとうございました。」

夏目英司君

「27日にドイツ、トルコの中経連経済視察を終えて、  
帰ってきました。両国ともユーロ危機をよそに活  
気に溢れていました。」

加治佐健二君

「次女の大学への進学が決まりました。」

服部雅紀君

「年の瀬も迫り皆様昼夜をとわず御多忙の時期とな  
りました。マスクを今年もお届けしますのでお健  
やかな年末年始をお過ごし下さい。」

坂倉弘康君

本日のニコボックス 7件 31,000円  
累 計 130件 1,170,000円

## 端山幹事報告

▽当クラブ行事予定

・11月30日(水) 例会終了後、クラブアッセンブ  
リーを開催致します。理事・役  
員・各委員長のご出席をお願い  
致します。委員長のご都合が悪  
い場合は代理の方のご出席をお  
願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、  
理事会を行います。

・12月7日(水) 年末会員家族懇親会。

受付は17時、開会は17時30分、  
閉会は20時20分頃を予定して  
おります、会場はウェスティン  
ナゴヤキャッスルです。

皆様方のご参加をお待ちして  
おります。

・12月14日(水) 卓話終了後、**年次総会**を開催致  
します。

## 天野清美会長挨拶

二週間の御無沙汰ですが、その間にも欧州のソプ  
リン危機は深刻化の度合いを強め予断を許さない事  
態になりつつあり、年末にかけて一層不透明感が増  
してきております。

一方、国内では大阪府知事、大阪市長ダブル選挙  
で橋下さんの維新の会が大勝を致しました。

長期に亘るデフレ経済下で閉塞感がつのる中、地  
方から変化が始まっていくのか注目されます。

さて話題はガラッと変わりますが皆さんは物流な  
らぬ人流という言葉をご存知でしょうか?

字句通り「人の流れ・動き」を表します。私共の  
タクシーもそうですがバス・鉄道・船・航空等の全  
国の交通事業者が一年間にどれだけの人を輸送して  
いるのか御存知の方はほとんどお見えにならないと  
思います。

ここに平成二十年度の国交省の資料がありますの

で少し御紹介させていただきます。

輸送人員はなんと延べ268億人に上ります。いうまでもなく鉄道事業者が圧倒的に多くJR各社、大手民鉄、地域鉄道合わせて約200億人、次がバスで46億人、三番目がタクシーで20億人、飛行機と旅客船はそれぞれ1億人となっております。

収入でみますと総計で12兆円。そのうち鉄道が約6兆円、続いて航空事業者が3兆5千億円、私共タクシーが約2兆円、そしてバス事業が1兆4千億円となっております。

一方、従業員数でみますとタクシーが最も多く46万人強、なんと交通事業従事者の53パーセントと半分以上を占めております。先程の収入で割りますと何と低い生産性かと思わずため息が出ます。

スマホを始め通信の高度化でいながらにして世界中とやり取りが出来る時代ですが、人間社会やはり最後はフェイス・ツー・フェイスではないでしょうか。

御商売や観光でどんどん移動して頂き人流を増やしていく事が経済の活性化をもたらし、私共にもお裾分けが頂けますので寒くなってきましたが皆さんに元気に外へ出て頂きたいと思えます。

今日は40周年記念卓話を富島先生にお願いしております。久し振りに名調子の富島節を聞かせて頂けると楽しみにしております。どうぞお手柔らかにお願いを致しまして会長挨拶を終わります。

の反対を含め多岐にわたり、歴代理事は我慢を重ねてご理解を得るよう努力しましたが、遂には「クラブの融和に深刻な影響が生まれ、クラブ運営に精を出す方々の意欲と情熱を失わせている」と判断し、次年度の松原さんと2年かけて、苦汁の決断をした次第です。私は会長挨拶の中でも、ロータリアンは紳士たれと問いかけ、歌舞伎の「助六」を諷める髭の「意休」の台詞などを交えてメッセージを送りました。「男伊達（紳士）というものは第一に正道を守り、不義をなさず、無礼をせず、理不尽を言わず、意気地によって心のみがくを誠の男伊達という…」。残念ながら、遂には退会という極刑に比しい最悪の結果となりました。日本では刑法で死刑を認めていますが、絞首刑が憲法で禁止されている刑罰に当たるかどうかがよく議論されますが、評価は人さまざまです。江戸時代では、死刑は①はりつけ、②火あぶり、③斬首の三種があり、「斬首」でも④獄門（切った首をさらす）、⑤死罪（胴をためし切りなどに使う）、⑥下手人（首・胴共遺族に渡される温情ある(?)はからい)。何をやると死刑になったか—火付・強盗は勿論、10両以上の盗み。不倫行為も死刑！今なら我が和合クラブからも何人か処刑されたかも…。処分・処罰というものは昔から大変厳しいものであります。クラブ運営に色々な意見を出し合うのは大いに結構。しかし、相手の個性や人格を尊重し、話し合う「男伊達」の心が大切。主張し、ゆるし合って、個性をみがき合う、「和合する」クラブであり続けたいものです。

## ●第5回理事会

(平成23年11月30日(水) クラブアッセンブリー終了後ウェスティンナゴヤキャッスル)

1. 次年度理事役員の件 (2012~2013年度)
2. 新入会員推薦の件  
南 喜幸氏 (柏木順壺さん、片桐さん紹介)
3. 上記に伴う職業分類オープン  
住宅分譲 (不動産)
4. 内海君退会の件
5. ロータリー東日本震災復興基金の件
6. その他

| 例会     | 月日    | 今後の予定  |
|--------|-------|--|
| 第1925回 | 12.7  | 年末会員家族懇親会<br>17:30~ウェスティンナゴヤキャッスル                    |
| 第1926回 | 12.14 | ホシザキ電気(株) 代表取締役会長<br>坂本精志氏(名古屋名東RC会員)<br>「米山奨学生への想い」 |

○このウィクリーは再生紙を使用しております。

## 卓 話

### 40周年卓話

1997~98年度会長 富 島 照 男



私は、1997~98年度に会長を務めさせて頂いた富島です。歴代に直しますと、今年が創立40周年ですから、第26代会長ということになります。大相撲の横綱でいいますと、白鵬は第69代、26代目は、大正時代の「大錦」に当たります。この時代は、副会長に私の尊敬する佐

橋さん、幹事にロータリーの生き辞引きといわれる安井(隆)さんの強力ご両人に支えられて、空前絶後の会員数112名を擁した佳き時代でありました。しかし、一つ思い出したくもない暗い出来ごとがありました。永年在籍された会員に強制的に「身分の終結」(定款10条6節)をさせて頂いたことです。この会員は、最高学府を出られた立派なご職業の方でありましたが、数年間にわたって、各年度の理事会に異を唱えられ、文書による抗議が年間二十数通、計百数十通に及びました。決定済の分区代理人事へ